

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 29 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県大牟田市三里町
2丁目10-10

氏名 株式会社 セイシン
代表取締役 中原さとみ

電話番号 (0944) 43-4008

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 セイシン
事業場の所在地	福岡県大牟田市三里町2丁目10-10
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	資本金3,100万円 元請完成工事高 ¥342,650,000-
③ 従業員数	22人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類：自社運搬→三新興産(株)・(有)萬葉に中間処理を委託→再生路盤材へ 木くず：自社運搬→(有)萬葉に中間処理を委託→再生路盤材へ 木くず：自社運搬→(株)九州バイオテックに中間処理を委託→木質燃料へ 汚泥：自社運搬→(同)ツムラ・(有)環境建設に中間処理を委託→再生土へ 廃プラ：自社運搬→(株)大潮に中間処理を委託→固形燃料へ

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役



産業廃棄物責任者

各工事現場管理者



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	2,036 t	108 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	11 t	4 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別を徹底し、強化を図る。 廃棄物の付着物の除去を徹底する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,900 t	100 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	10 t	3 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の分別を徹底し、強化を図る。 廃棄物の付着物の除去を徹底する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 付着物・異物を除去し、分別を徹底する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 付着物・異物を除去し、分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	該当なし			
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
	該当なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまで実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	該当なし			
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
	該当なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状	【前年度 (4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	2,036 t	108 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	2,036 t	108 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	11 t	4 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	11 t	4 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまで実施した取組) 廃棄物の全量を再生利用者へ処理を委託している。		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		がれき類	木くず
全 処 理 委 託 量		1,900 t	100 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		1,900 t	100 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		汚泥	廃プラスチック類
全 処 理 委 託 量		10 t	3 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		10 t	3 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
(今後実施する予定の取組) 廃棄物の全量を再生利用者へ処理を委託する。			